



認定こども園  
五所川原こども園  
TEL 0173  
34-2654

聖句：見よ、それは極めて良かった。 創世記1章31節

主題：みつける

月のねがい：・嬉しい時も悲しい時も共にいてくださる神さまに感謝し、礼拝の時を喜ぶ

・友だちと一緒に楽しみ満足感を感じる

・園内外の自然に触れ、気候の変化を感じ、開放感を味わう

旧約聖書の一番初めには「天地創造」の物語が記されています。神さまがこの世界を創られたという事です。それは創造主である神さまのみが完全な存在であり、人間を含めた創造物すべては不完全なものである、というメッセージが込められています。しかし、不完全ではあるものの、その不完全さを肯定する言葉が創世記には繰り返されているのです。「良しとされた」という言葉です。すべてのものの最後に人間を創造されて終わっているのですが、そのすべてを創造された最後にすべてのものをご覧になった神さまが言われた言葉が「見よ、それは極めて良かった」という言葉です。

私たち一人ひとは、不完全なものなんだよ、でも、それで良いんだよ。みんな良しとされたものなんだから。みんな良いものなんだから、良いものとして互いに助け合い、不完全だからこそ守られて共に生きていこうと創世記の天地創造物語は語っているように思います。違いが排除され、命が傷つけられるような現実が多いのが今の世の中かも知れません。

しかし、私たちは神さまが創ってくださった不完全だけれども、「極めて良かった」と言っていた存在として、とても良いものを互いに尊敬しあい、共に生きる社会を作っていければと思います。

「極めて良かった」と言っていた存在である私たち。互いに大切に合っていけるように毎日を過ごしていきたいと、思います。



- 1日(土) 消防観閲式パレード参加 (ひまわり組)
- 7日(金) 花の日・子どもの日礼拝 消防署訪問
- 10日(月) 佐々木章さんミニコンサート
- 12日(水) エルムの街交番訪問
- 18日(火) 交通安全教室 (交差点横断)
- 20日(木) 総合避難訓練 職員会議
- 21日(金) お誕生会
- 28日(金) 総練習
- 29日(土) スポーツフェスティバル

<花の日・子どもの日礼拝の由来>

1856年にアメリカのレオナード牧師が、子ども達が信仰生活に入るために、また、その両親が子どもを神に捧げる日として6月第2日曜日に特別礼拝を持ったのが最初です。その後、1870年に、マサチューセッツ州ローエル市の牧師が「シャロンのバラの日」と名付けて、子ども達が花のようにすくすくと育つことを願って祝福し祈り、花を子ども達に手渡して礼拝を守ったことから、この日を「花の日・こどもの日」としてキリスト教の教会で守られ、次第に幼稚園・保育園・学校で守られるようになりました。

<ねらい>

- ・神さまや人々から愛されていることを知り感謝する。
- ・花の美しさに気づき、大切に扱う。
- ・花も人も神さまから与えられて成長していることに気づく。



※7日の朝、お庭に咲いているお花を少し持って来て下さるようお願い致します。持ち寄ったお花を礼拝堂に飾り、感謝の礼拝を捧げます。



- あみちゃん
- きょうくん
- そうやくん
- ななせちゃん
- りんちゃん

○消防署・交番訪問

花の日・こどもの日の礼拝後、いつもお世話になっている五所川原消防署とエルムの街交番へ子ども達がお花をもって訪問し、感謝の気持ちを伝えます。

7日(金) ちゅうりっぷ、ひまわり組が消防署内、レスキュー隊の訓練を見学してきます。

12日(水) 大きいひまわり組「エルムの街交番」へお花をもって訪問します。



○スポーツフェスティバル

6月29日(土) 9時から会場は五所川原第三中学校体育館です。皆さんで応援に来て下さいね。

○佐々木あきらさんコンサート

6月10日(月) 15時30分～ ホールでミニコンサートをします。時間のある方は、子ども達と一緒に歌や大型絵本の読み聞かせを楽しんで下さい。参加自由、申し込み不要ですので時間がとれましたらどうぞ来園して下さい。



<子ども達の安全確保についての 取り組み>

交通安全教室を5月は園庭で道路の正しい歩き方、6月は横断歩道の渡り方、信号の見方、交通安全について、エルムの街交番の警察官に来てもらい教えて頂きます。(お散歩コースは、毎月1回点検を行っています。)